

2024年12月 高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



図書館ですてきな出会い人と本

短い秋があっという間に過ぎ、気づけば2024年も残りひと月。

今月はアートおさんぽをお休みして、新年にいただく郷土料理をご紹介します。

あん餅雑煮

香川のお正月の代名詞、あん餅が入った雑煮です。

知っているようで知らない、その歴史や由来について、郷土資料を調べてみました。

まず雑煮とは、神様にお供えする神聖な食べ物であるお餅を、年の初めにお下がりとしていただくことで、一年の健康や家庭円満などを祈念するのが由来です。室町時代頃に武家の間で始まり、近世になって一般庶民へも広まったと考えられているそうです。

高松藩主・松平頼恭が雨の少ない香川県でのサトウキビの栽培を奨励し、白く口どけの良い白砂糖は塩・綿に並ぶ“讃岐三白”として特産物となりました。その砂糖を明治時代頃から年に一度、正月の特別料理としてふんだんに使用したあん餅で雑煮にしたのが始まりといわれています。

また、雑煮に白みそを使用するのは、上方の文化が流入するようになり京風の仕立てになったからとされます。白みそは蒸した大豆に米こうじを多くして塩分をひかえた、1か月ほど熟成させて使う甘口の味噌です。家庭で造っていた頃は、年末の雑煮用として貴重な米を大量に使用する贅沢な調味料、「節みそ」と呼ばれていました。

具ではあん餅のほか、豆腐と輪切りにした金時ニンジンと大根をいれるのが代表的です。輪切りの野菜にはそれぞれ、日の出と家族「円」満の願いがこめられています。地域や家庭によって違いがあり、里芋・ゴボウ・油揚げなどを取り入れられたりもするそう。

調べていると、讃岐の雑煮はあん餅雑煮だけではなく、県内の地域によって6種類のバリエーションがあることを知りました。あん無し、塩あん、すまし仕立て、赤味噌…。餅がまるいのはほぼ共通しているようで、ここにも「まるく納まるように」という思いがこもっているように感じられます。

家族団らん、あたたかい思いのこもった郷土料理をぜひ味わってみてください。



参考文献

『新・さぬき野』香川県広聴広報課 / 企画・発行 2020 No.71 冬 T2918/ カカ
『絆 次世代にへ伝えたいさぬきのふるさと料理』十川時子 / 著 2016年 T5960/ ソカ
『さぬき味の歳時記』香川県農業経営課 / 編集・監修 1998年 T5963/ サヌ

* 中央図書館 12月の休館日のお知らせ * 2日、9日、16日、23日、29日~1月3日

今月のおすすめ本

冬到来！

今月も季節にぴったりの本をご紹介します。



『十二支ふしぎばなし』

福井 栄一 / 著 樹林舎 2024年 3881 / フク

「まえがき」にある通り自分の干支から読んでみるとおもしろい、上方文化評論家の著者が選んだ、十二支の生きものにまつわる不思議な話が集まっています。それらの出典は今昔物語や日本書紀といった古典文学。十二支が身近に感じられます。



『粕汁の本 はじめました』

松島 むう / 著 西日本出版社 2023年 5960 / マツ

近畿圏内の冬のソウルフード、「粕汁」の名店を著者の食べ歩きエピソードとともにイラストとマンガを交えて楽しく紹介した1冊。関西だけでなく、酒粕をつかったご当地グルメや家庭の味を再現したレシピにいたるまで、体も心もあたためてくれるレシピが詰まっています。



『熟成ケーキ シュトーレン、クグロフ、プディングect. 寝かせて美味しい珠玉のお菓子レシピ』

磯貝 由恵 / 著 河出書房新社 2023年 5966 / イソ

焼き上げてから時間をおき、あえて「熟成」させてからおいしく食べるケーキのレシピ集です。少しずつ食べて楽しみながらクリスマスを待つ伝統的な発酵菓子、シュトーレンのレシピも掲載されています。冬のイベント時期にぴったりです。



『言葉のセンスが磨かれる 決定版字手紙レッスン』

関 紫芳 / 著 あかり舎 2023年 7280 / セキ

薄い墨で大きな漢字一文字（大字）を書き、濃い墨でメッセージを添え、印をおして仕上げる「字手紙」の実用書です。大人の言葉遊びと表現されているとおり、伝えたいことをぎゅっと凝縮した一文字を考える楽しみが伝わってきます。筆の使い方やシーン別のお手本、宛名面の書き方の基本も解説されており、1年の感謝を伝えるこの時期にぜひ参考にしてみてください。

SNSで情報発信中！

Instagram



Facebook



Follow me★

図書館イベント情報、お知らせなどは
SNSからもチェックできます！





館内展示



令和6年度 高松市公文書館巡回展

『高松・彩・発見！公文書でたどる「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」』

期間：12月3日（火）～1月5日（日）

場所：2階 展示コーナー

巡回展のテーマ「高松・彩（さい）・発見」に使用した「彩」という字には、本市の彩り豊かな魅力を再び感じていただきたいという思いを込めました。街の整備の歴史、観光スポット、特産物・伝統芸能を公文書・写真・実物等で紹介するコーナーに加え、戦後以降、市の情報発信の中心的役割を担ってきた広報紙を取り上げたコーナーを設けています。ぜひ、本市の魅力を彩（さい）再・発見してください！

報告

11月18日（月）、株式会社たまや様より、青少年の健全育成のため、高松市他4市2町の図書館に児童書を寄贈いただき、寄贈目録贈呈式を行いました。

たまや様からの高松市図書館への寄贈は、昭和62年から今年で38年目となります。



イベント報告

墨文字年賀状講座

11月17日（日）@サンクリスタル高松 第一集会室

講師の穴田氏をお招きし、墨文字年賀状講座を開催しました。毎年参加されている方も数名いらっしゃる中、普段はパソコンで作成している年賀状を今年は手書きで！と意気込み、初めて参加される方もおられました。講師による実演やお手本を参考に、みなさん真剣に筆を運ばせていました。

世界に1枚しかない手書きならではの良さを改めて実感できる、貴重な時間となりました。



中央図書館 12月行事予定

・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	5	6	7 ●ひよこの学校 11:00~ ●なかよしかみしばい 14:00~	
8 ●大人も楽しむ 絵本の世界 14:00~	9	10	11	12 ●えいごあそび 11:00~	13	14 ●おはなしのかけはし 14:00~	
15 ☆冬のおたのしみ会 14:00~	16	17 ●えいごの おはなし会 11:00~	18	19 ●わらべうたであそぼう 10:30~	20	21 ●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~	
22 ●かずこさんの おはなし会 14:00~	23	24 ●にこにこ おはなしひろば 11:00~	25	26	27	28 ●伝々虫のおはなし会 10:00~	
29	30	31	年末年始休館日 12月29日~1月3日まで (1月4日は正午開館、午後5時閉館です)				

図書館員の小部屋

このコーナーでは、毎月ちがう図書館員からの
おすすめ資料などを紹介していきます。

図書館司書は「子どもの頃からたくさん本を読んでいる」と思われている…と感じる。残念ながら私自身、幼い頃の読書経験は乏しい。小学校の教室の壁に、読んだ本を書き込んでいく棒グラフが貼りだされていて、それが嫌いな私はますます本から遠ざかっていた。けれども、小学校の図書室は記憶に残っている。木造の光る床板と古い本のおい。よほど居心地がよかったのだろう、借りもしないのによく行っていた。小学5年生の頃、友だちに勧められた本がきっかけとなって物語の面白さにひきこまれ、『赤毛のアン』のシリーズや『龍馬がゆく』や向田邦子のエッセイ、スタンダードやカフカなど、興味の赴くままに手に取った。そして、トルキンの『ホビットの冒険』『指輪物語』に会う。現実とはちがう世界で起こる壮大な冒険に、文字どおり心が踊った。大人になってからも「児童文学」と言われる多くの本に親しんでいる。アーサー・ランサムやローズマリー・サクリフなどなど。これらは手に取られにくい本でもあるが、一度読みだすと次から次へ読まずにはいられない中毒性がある。子どもの頃に出会っていればどんなに楽しかったろうとも思うが、大人になった今も児童文学を楽しんでいる。(S)

視聴覚だより 2階 AV コーナー

特集 『ほっこりかわいも どうぶつ大集合』

- ① 『チェシャねこリターンズ!』 18/ヨシ
- ② 『ねこのための音楽~ Music for Cats』 55/ネコ
- ③ 『僕のワンダフル・ライフ』 D12/ホク
- ④ 『ピーターラビット』 D12/ヒタ
- ⑤ 『岩合光昭の世界ネコ歩き』 D65/イワ



《ピックアップ作品》

① 『瑠璃色の地球』 15/イシ

日本が誇るパイプオルガン建造者の辻宏が製作したパイプオルガン。コンサートホールの巨大なパイプオルガンとは違い、小さなオルガンではあるがパイプからすべて手作りのため、複雑な音色を奏でます。本アルバムはこの辻氏のオルガンを使い、歌うような演奏で過去のポップスの名曲たちをお楽しみいただけます。